

平成 27 年度 南区長マニフェスト

南区長 渡辺 稔

マニフェスト

現在の南区は人口減少と高齢化が急速に進行して、地域の最重要課題となっています。国の「まち・ひと・しごと創生本部」の設置を受けて、南区の活性化のため地域の魅力発信や地域力の活用を図る必要があります。

南区では、豊かな大地の恵みである「食と花」、長い歴史に培われた伝統文化や匠の卓越した技など、多くの「地域魅力」があります。そこに今まで培った地域力を活かして、防災力の強化や、超高齢社会への対応、子育て支援など、新区ビジョンまちづくり計画に掲げた区の将来像『大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち』の実現を目指します。

この方針のもと南区は今年度、以下の 4 つの取組を重点的に実施します。

1. ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちづくり
2. 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちづくり
3. 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちづくり
4. 大凧が舞い、獅子が跳ね、ル レクチエが実るまちづくり

マニフェスト実現に向けた取り組み

1 ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまちを目指します。			
現状 (課題)	<p>区民の防災意識は高く自主防災組織は市内でもトップクラスの結成率となっていますが、災害時に機能する自治会単位の要援護者支援や避難所運営など、地域の防災力向上に向けた活動の推進が必要となっています。</p> <p>子育て中の保護者の孤立化と育児不安・ストレスなどの問題が発生しています。</p> <p>超高齢社会を迎え、医療施設や介護施設の受け入れも限界が予想される中、在宅医療の支援体制について整備が求められています。</p>		
課題 解決策	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">目標</td> <td>平成 30 年までに区ビジョンまちづくり計画の「安心して、快適に暮らすまちづくり」「誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり」「区民や地域が主役となるまちづくり」の取り組みを中間達成</td> </tr> </table> <p>災害発生時の実効力を高めるため、避難所運営マニュアルを見直し、防災意識を高めます。また、地域との連携がスムーズに機能することが重要であることから検証を行い、区民と行政が共に減災に向けたまちづくりを進めます。</p> <p>人口減少・超高齢社会への対策として、地域における高齢者の元気な暮らしを支える仕組みづくり、子育て支援、学校との連携を推進します。</p>	目標	平成 30 年までに区ビジョンまちづくり計画の「安心して、快適に暮らすまちづくり」「誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり」「区民や地域が主役となるまちづくり」の取り組みを中間達成
目標	平成 30 年までに区ビジョンまちづくり計画の「安心して、快適に暮らすまちづくり」「誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり」「区民や地域が主役となるまちづくり」の取り組みを中間達成		
主な 取組	<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区総合防災訓練の実施 ・自主防災組織の支援 <p>【健康・福祉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者農業体験 ・「地域で子育て」を応援 ・高齢者を地域で支えるモデル事業 		

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	年度末に実施
今後の方針					

2 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまちを目指します。					
現状 (課題)	<p>区内に軌道系の公共交通機関がなく、主にバス運行が区民の重要な移動手段となっています。</p> <p>区バスや住民バスについて、運行頻度やルートに対して改善要望があるものの、利用者は伸びておらず、効率的な交通システムの構築が困難な状況にあります。</p> <p>都市基盤となる幹線道路の適切な維持管理により車両の走行性の改善や歩行者の安全性の向上、橋梁施設の長寿命化に努めています。</p>				
	課題解決策	目標	平成30年までに区ビジョンまちづくり計画の「交通の利便性の高いまちづくり」の取り組みを中間達成		
主な取組	<p>区バスについては国道8号線を基軸とし、都心や近隣地域へのアクセス機能や路線相互の乗換機能を高めます。また、まちなか循環バスの社会実験を実施しまちなかの活性化の検証を行います。</p> <p>国道8号バイパス全線供用後の現国道8号の安心安全な空間の創出とにぎわいを区民の意見を反映し支援します。</p> <p>早期の点検補修により基幹道路と橋りょうの維持管理を実施し、長寿命化を進めます。</p>				
	<p>【公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区バス運行事業 ・まちなか循環バス社会実験 <p>【道路・橋りょう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道8号道路空間創出計画の策定 ・幹線道路と橋りょうの適切な維持管理 				

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	4	達成数	年度末に実施
今後の方針					

3 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまちを目指します。			
現状 (課題)	<p>農業従事者の高齢化が進み、担い手が減少しています。</p> <p>消費者と農業者の交流の場、あるいは農業体験の場を設定し、農産物「食と花」を大いにPRしながら、来て見て買って食して楽しんでいただく取り組みや農産物を活かして農商工連携による食品の高付加価値化が進んでいないため6次産業化の推進が求められています。</p> <p>南区で盛んな果樹・切り花などの園芸や畜産の生産性を高めるために「食と花の名産品」として指定し、市内外に広くPRを行っています。生産量は増加していない現状です。</p> <p>商店主の高齢化や後継者不足により廃業や空き店舗、更地が目立つなど、まちなかの活力が失われつつあることから、南区の商業の中心である白根地区商店街に元気を取り戻し地域商業の拠点として強化することが必要です。</p>		
課題 解決策	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #f4b084; text-align: center;">目標</td> <td>平成30年までに区ビジョンまちづくり計画の「活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり」「いきいきと働けるまちづくり」の取り組みを中間達成</td> </tr> </table> <p>農業者と消費者の交流の拠点施設であるアグリパークと連携して、食育・農業体験をはじめとした農村・都市交流に取り組みます。</p> <p>また、農業活性化センター、食品加工支援センターと連携し地域ビジネスの展開や新たな雇用創出を図るとともに拠点商業地活性化推進事業に取り組みます。</p>	目標	平成30年までに区ビジョンまちづくり計画の「活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり」「いきいきと働けるまちづくり」の取り組みを中間達成
目標	平成30年までに区ビジョンまちづくり計画の「活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり」「いきいきと働けるまちづくり」の取り組みを中間達成		
主な 取組	<p>【農業】【産業・まちなか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携がっちりプロジェクト ・ニューフードバレー拠点化推進事業 ・南区資源循環事業 ・拠点商業地活性化推進事業計画の実施 		

取組 結果	主な取組の指標達成状況	設定数	4	達成数	年度末に実施
今後の 方針					

4 大凧が舞い、獅子が跳ね、ル レクチエが実るまちを目指します。			
現状 (課題)	歴史と伝統を誇る白根大凧合戦、重要文化財笹川邸などの観光資源、財産を有機的に結合し、南区の魅力をさらに磨きあげて、これを交流人口の増大につなげるとともに多彩な地域の宝ものを大切に受け継ぎ、保全を図る必要があります。		
課題 解決策	<table border="1"> <tr> <td style="vertical-align: top;">目標</td> <td>平成30年までに区ビジョンまちづくり計画の「にぎわいと多彩な交流のまちづくり」の取り組みを中間達成</td> </tr> </table>	目標	平成30年までに区ビジョンまちづくり計画の「にぎわいと多彩な交流のまちづくり」の取り組みを中間達成
	目標	平成30年までに区ビジョンまちづくり計画の「にぎわいと多彩な交流のまちづくり」の取り組みを中間達成	
<p>白根大凧合戦、笹川邸、郷土芸能角兵衛獅子、そのほか地域固有の文化施設や伝統行事に「食」を組み合わせた観光プランなどを構築し、アグリパークの宿泊施設を利用することで通過型観光から滞在型観光への転換を進め、交流人口の拡大につなげます。</p> <p>また、地域固有の文化施設や伝統行事などの魅力を向上させるとともに、保全と活用を図り次世代へ継承します。</p>			
主な 取組	<p>【観光】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来てきて笹川邸 ・リン輪、ぐるっと南区めぐり ・みなみ〜て南区魅力発信事業 <p>【文化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笹川邸保存活用計画の策定 		

取組 結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な取組の指標達成状況</th> <th>設定数</th> <th>4</th> <th>達成数</th> <th>年度末に実施</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="height: 40px;"></td> </tr> </tbody> </table>	主な取組の指標達成状況	設定数	4	達成数	年度末に実施					
	主な取組の指標達成状況	設定数	4	達成数	年度末に実施						
今後の 方針											

平成27年度南区長マニフェスト

視点

地方創生

ニューフードバレー プロジェクト (国家戦略特区関連)

国土強靱化

安心政令市

事業 及び 指標

●拠点商業地活性化計画

- ・白根町屋まち歩き開催 2回
- ・空き店舗の交流スペース活用 1箇所

●笹川邸保存活用計画の策定【新規】 ●来てきて笹川邸【新規】

- ・入場者 5,732人⇒9,000人

●リン輪、ぐるっと南区めぐり

- ・参加人数 149人⇒250人

●障がい者農業体験【新規】

- ・作業の延べ参加者数 200人

●みなみ〜南区魅力発信

- ・区HPアクセス数(月)
26,504件⇒30,000件
- ・スペシャルサイト(月)
2,858件⇒4,000件

- ・しろね大凾と歴史の館入館者
16,462人⇒18,500人

●国道8号道路空間創出計画【新規】

- ・住民・関係団体と計画策定

●農商工連携がっちりプロジェクト【新規】

- ・一次加工品の試作 5品
- ・研修会の実施 3回

●ニューフードバレー拠点化推進事業

- ・企業説明会参加企業10社
- ・企業向けビジネスニュースの発行4回

●南区資源循環事業

- ・たい肥施用水田面積87ha⇒97ha



●災害に強いまちづくり

- ・全コミ協参加の南区総合防災訓練の実施
- ・自主防災組織率 91%⇒95%

●区内の生活交通の維持

- ・区バス 24,245人⇒26,200人
- ・乗合タクシー2,487人⇒2,800人

●まちなか循環バス社会実験

- ・白根まちなかでの施設間移動とターミナル機能の効果検証

●基幹道路と橋りょうの適正な維持管理

- ・24時間以内対応率 90%



●地域で子育てを応援【拡充】

- ・子育て支援リーダーによる子育て広場開設回数 20回⇒30回

●高齢者を地域で支えるモデル事業

- ・地域における具体的な仕組みづくり
事業計画立案 2地区⇒5地区



マニフェスト 以外の事業

●まち・ひと・しごと創生区内WG

- アグリパーク農業体験利用者増

●農地中間管理機構の活用による 農地集積 (モデル地区:吉江・根岸・菱湯)

●中ノロ川の国直轄化要望

●田んぼダム面積を増やす

●医療介護連携プロジェクト